angelette®

for your sweet baby

アンジェレッテ ベビーキャリア

Baby Carrier

取扱説明書

使い方の動画は
こちらから
ご覧いただけます。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用になる前に、よくお読みのうえ正しくお使いください。
また、**取扱説明書は必ず保管してください。**
本製品を他のお客さまにお譲りになるときには、
必ず取扱説明書もあわせてお渡しください。

材料・部材は充分に選別しておりますが、主な素材が繊維であるため、使用頻度にもよりますがお使い始めてから約3年を耐用年数とお考えください。

目　次

①使用できるお子さまの月齢 ..... 1 ページ

②各部の名称 ..... 1 ページ

③ファーストファスナー使用上の注意 ..... 1 ページ

④バックル使用上の注意 ..... 1 ページ

⑤安全にお使いいただくために ..... 2 ページ

⑥お手入れ方法 ..... 3 ページ

⑦品質保証（アフターフォロー）について ..... 3 ページ

⑧ＳＧマーク制度について ..... 3 ページ

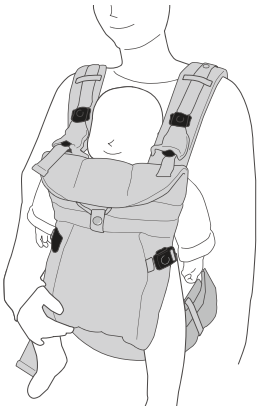
【使い方】

⑨ベビーキャリアの装着方法（抱っこする前に） ..... 4 ページ

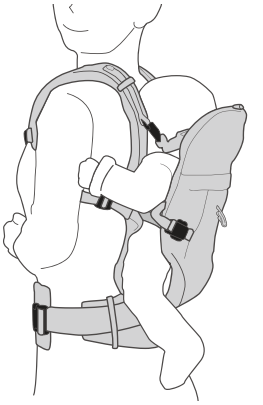
⑩たて抱っこ対面
【生後１ヵ月から】
……5 ページ

⑪たて抱っこ対面
【首がすわってから】
……6 ページ

⑫たて抱っこ前向き
【腰がすわってから】
……7 ページ



⑬おんぶ
【首がすわってから】
……8～9 ページ



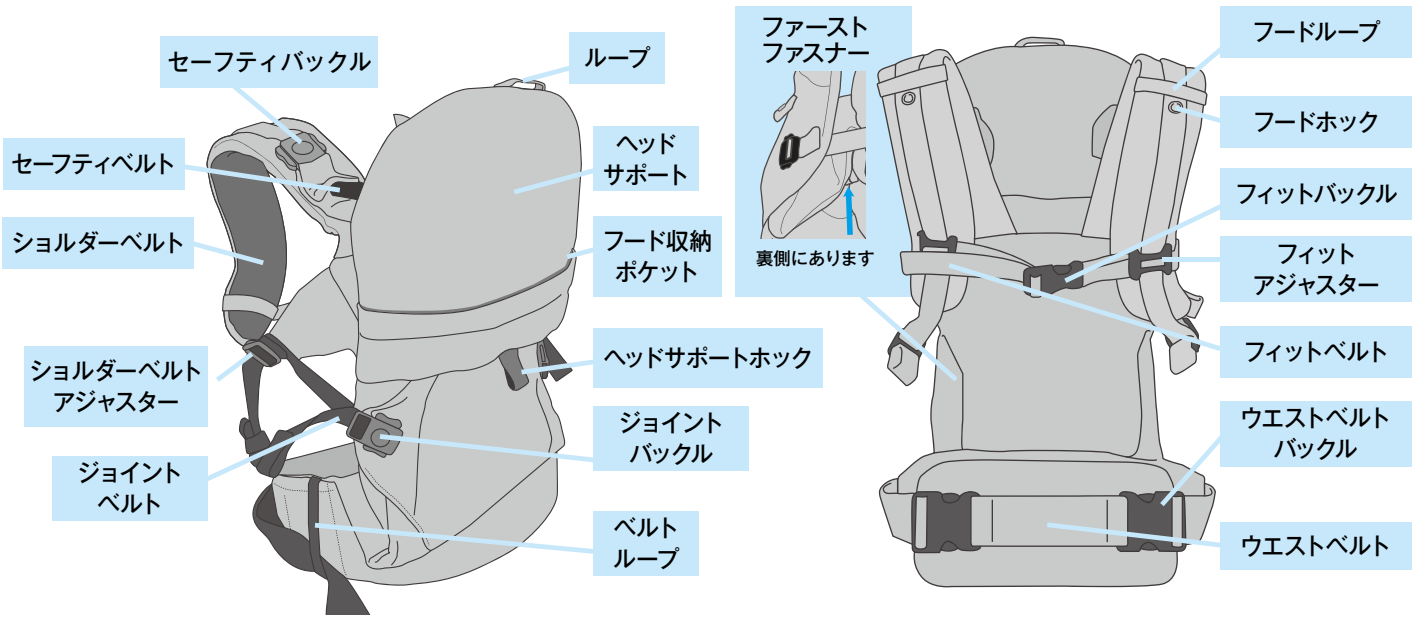
⑭Ｔｉｐｓ ..... 10～11 ページ

①使用できるお子さまの月齢

1ヵ月　4ヵ月頃　7ヵ月頃　24ヵ月　36ヵ月

たて抱っこ対面	生後1ヵ月（かつ体重 3.2kg 以上）～ 24 ヵ月（体重 13kg）まで ※生後 1 ヵ月から首がすわる（4 ヵ月頃）までは必ずファーストファスナーを閉めてご使用ください。
たて抱っこ前向き	腰がすわった乳児期（7ヵ月頃）～ 24 ヵ月（体重 13kg）まで
おんぶ	首がすわった乳児期（4 ヵ月頃）～ 36 ヵ月（体重 15kg）まで
チェアベルト	腰がすわった乳児期（7ヵ月頃）～ 24 ヵ月（体重 13kg）まで ※使い方は 11 ページ Tips をご参照ください。

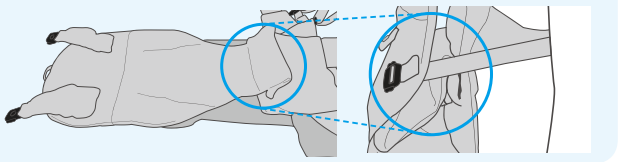
②各部の名称



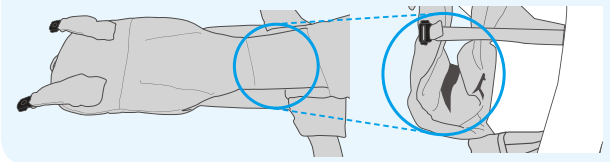
③ファーストファスナー使用上の注意

生後 1 ヵ月から首がすわる（4 ヵ月頃）までは必ずファーストファスナーを閉めてご使用ください。
首がすわった乳児期（4 ヵ月頃）からは必ずファーストファスナーを開けてご使用ください。

生後 1 ヵ月（かつ体重 3.2kg 以上）～首がすわる（4 ヵ月頃）まで

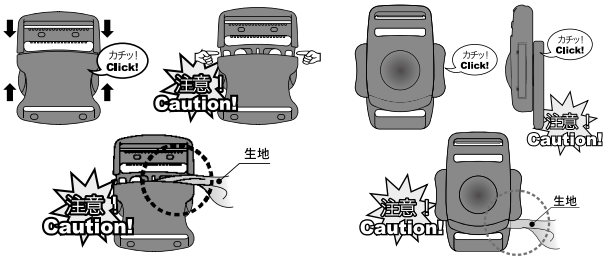


首がすわった乳児期（4 ヵ月頃）～ 36 ヵ月（体重15kg）まで



④バックル使用上の注意

■バックルを使用する際は、必ずカチッと音がする最後まで差し込んだことを確認してください。
■正しく組まれない状態で使用しますと、使用中バックルが外れ、お子さまの落下事故につながるおそれがあります。
■バックルを差し込んだ際に、生地等異物を挟んでいないことを確認してください。



⑤安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、使用前に必ず取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または
重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●お子さまが開口部から落下するおそれがあります。体を傾ける際には、お子さまが落下しないよう手で支えてください。また、頭が下向きにならないよう腰を曲げるのではなく、膝を曲げるようにしてください。

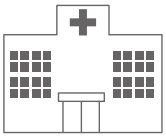
●正しく調整し、バックルなどの固定箇所を確実に締めてください。お子さまが落下するおそれがあります。

●使用中に大きく前かがみしないでください。お子さまが滑り落ちる可能性があります。

●生後1ヵ月（かつ体重3.2kg以上）～首がすわる乳児期（4ヵ月頃）までは必ずファーストファスナーを閉めて使用してください。
●お子さまの首がすわるまでの抱っこは、使用者とお子さまが向き合う姿勢でのみ、使用してください。

●生後4ヵ月未満の乳児は保護者の体に顔を強く押し当てられると窒息するおそれがあります。
●乳幼児を保護者の体に強く縛り付けずに、頭部を動かす余裕があるように装着してください。
●お子さまの気道をふさぐことがないなど、状態に注意しながら使用してください。

●早産児及び呼吸器疾患等のあるお子さまへは使用しないでください。ご使用については医師に相談してください。



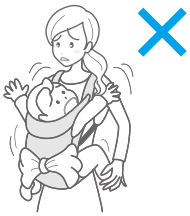
⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、
物的損害が生じる可能性が想定される内容を示します。

●着脱時は、可能な限り低い姿勢や安全な場所で行うようにしてください。他の人に介添えいただくとより安全です。

●おんぶ時は、目が届きにくくなりますので、特に注意してください。

●お子さまがそり返ったり、動いて安定しない場合は使用しないでください。



●使用前にバックル等の固定部が確実にとめられていることを確認してください。特に背中のバックルについては、バックルがとまっているか、必ず確認してください。
●装着後も緩みがないかを確認してください。

●使用前には、やぶれ、ほつれ、傷、バックルなどが破損していないか確認してください。また、破損している場合は使用しないでください。

●抱っこ時は、お子さまの頭で前方、特に足元の視界が妨げられないよう装着し、歩行時も注意してください。

●バックルの開口部またはすき間にお子さまの手指を入れないように注意してください。すき間に指が入って抜けなくなったり、傷害の危険性があります。未使用時もバックルが開口していないよう、はめ込んでおくようにしてください。

●授乳後30分間位はおなかを圧迫することがあり、消化吸収を助けるために、使用しないでください。
●連続して使用する時は、体調の変化や装着状況を確認する必要があるため、2時間以下の使用にしてください。
●体調がすぐれない時や、体に痛みを感じる時は、使用しないでください。

●飛行機、車、自転車、バイクでは使用しないでください。

●料理、家事の時は、おんぶで使用してください。火気に注意し、使用中に大きく前かがみしないでください。また、思わぬ事故につながるおそれがあるため、抱っこでの使用はしないでください。

●汗や水で湿った状態で強い摩擦をうけると、他に移染するおそれがあります。

●直射日光のあたる場所に保管しないでください。また、車の中など高温になりやすい場所に保管しないでください。（劣化や変色するおそれがあります）

⑥お手入れ方法

洗濯についてのご注意

●洗濯については製品に縫い付けの組成表示ラベルをご参照ください。
●色落ちする場合がありますので、他の洗濯物とは別けて洗ってください。
つけ置き洗いも避けてください。
●洗濯ネットに入れて洗ってください。
バックルが付いている製品は、バックルをとめてネットに入れてください。
●軽い汚れの場合は、湿らせた布で汚れた部分をたたくようにして落としてください。
●漂白剤、蛍光増白剤入りの洗剤は使用しないでください。
●脱水機、乾燥機の使用はしないでください。樹脂部品が破損するおそれがあります。

点検について

●ご使用前に、バックルなどの樹脂部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、傷がないことを確認してください。
異常がある状態で使用すると、事故につながるおそれがあります。

⑦品質保証（アフターフォロー）について

●着用方法や使用方法などでご不明な点がございましたら遠慮なくご相談ください。
●お買い上げから１年間無料修理いたします。

必ずお買い上げ日を証明できるもの（レシート・明細書等）を保管してください。

弊社までの送料はお客様負担となります。
（初期不良・部品の欠品など弊社の責任によるものは弊社が負担いたします。）
部品の在庫が無い場合は色や大きさがご希望に添えない場合がございます。

【無料修理の対象外となる場合の内容】
・お買い上げ日から１年以上過ぎた場合
・お買い上げ日を証明できるもの（レシート・明細書等）がない場合
・自然の消耗・サビ・カビ・変色・虫食い等の製品の劣化。
・お客様の故意・誤った使い方やお手入れ・改造による故障や損傷。
・災害や外部要因などによる故障や損傷。

アフターフォローについてのご連絡先

ラッキー工業株式会社
TEL 0585-45-7425
受付時間：9：00 ～ 17：00（土、日、弊社定休日を除く）

⑧ SG マーク制度について

SG マークは、製品安全協会が定める SG 基準に適合するものとして認証された製品に表示される安全・安心マークです。SG マーク付きの製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。抱っこひもの場合は、お買い上げ日より３年以内が有効期間となります。

製品安全協会

東京都台東区竜泉2-20-2　ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3300

●賠償についてのご注意

SG マーク付き製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。

●製品の欠陥により事故が起きた場合

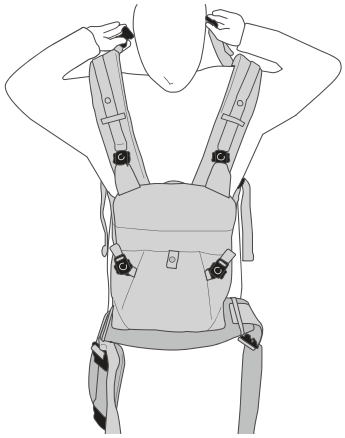
事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。
（原則として事故発生日から 60 日以内に連絡してください。）

●事故の届出に必要な項目

①事故の原因となった SG マーク表示の製品
・製品の名前、ロット番号　・購入先、購入年月日
②事故発生の状況
・事故発生年月日　・事故発生場所　・事故発生状況
③被害の状況
・被害者の氏名、年齢、性別、住所　・被害の状況

⑨ベビーキャリアの装着方法（抱っこする前に）

1

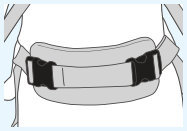


ベビーキャリアをかぶります

ベビーキャリアを頭からかぶります。
フィットバックルは必ずとめて使用してください。
バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。

2

ポイント

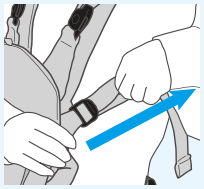


ウエストベルトは左右どちらのバックルでも着脱することができます。

ウエストベルトをとめます

ウエストベルトをとめて長さを調整します。ベルトは左右交互に調整すると締めやすくなります。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。ウエスト135cm くらいまでのパパ・ママにお使いいただけます。

3

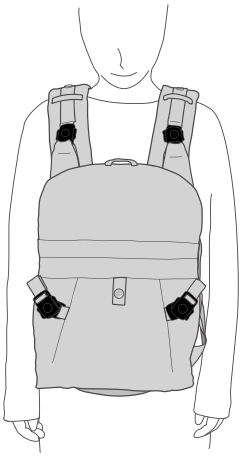


アジャスターの根元を持ち、矢印の方向に引っ張ると短くなります。
2、3 回に別けて調整すると簡単にできます。

ショルダーベルトを調整します

左右のショルダーベルトを調整します。
※使い方によってはベルトがねじれてしまうことがあります。ねじれたベルトの直し方は、11 ページ Tips をご覧ください。

4



装着の完了です

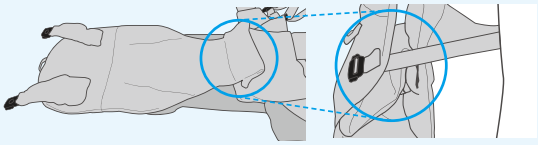
ポイント

①最初にパパ・ママにベビーキャリアを付けて体にフィットさせることができます。
⇒お子さまを抱っこしながら調整する必要がありません。

②最後にお子さまとパパ・ママとの距離を調整することができます。
⇒お子さまの成長に合わせて調整することができます。

⑩たて抱っこ対面【生後１ヵ月（かつ体重3.2kg 以上）～首がすわる乳児期（4ヵ月頃）まで】

⚠注意 ファーストファスナーが閉まっていることを確認してください。

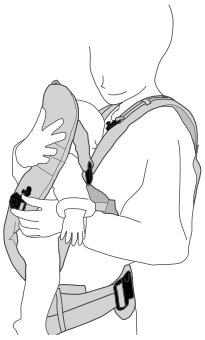


1

ポイント
お子さまを乗せる前に、左右のセーフティバックル、ジョイントバックルを外しておきます。

お子さまを乗せます
お子さまの頭と体を支え、胸の高い位置にもたれかけるようにします。
※慣れるまではベッドやソファなど、平らで低い位置で乗せおろしすることをおすすめします。

2



ベビーキャリアをかぶせます
手でお子さまを支えながら、ベビーキャリアをお子さまにかぶせます。
※常にお子さまを支えるようにしてください。

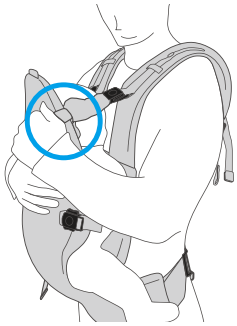
3

ジョイントバックルをとめます
左右のジョイントバックルをとめます。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。

4

セーフティバックルをとめます
左右のセーフティバックルをとめます。
バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。

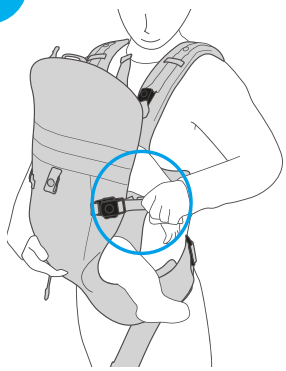
5



セーフティベルトを締めます
左右のセーフティベルトを締めます。お子さまの頭が寄るように締めてください。

ポイント
セーフティベルトは必ず締めてください。

6



ジョイントベルトを締めます
左右のジョイントベルトを締めます。
お子さまの体が寄るように締めてください。

ポイント
ジョイントベルトは必ず締めてください。

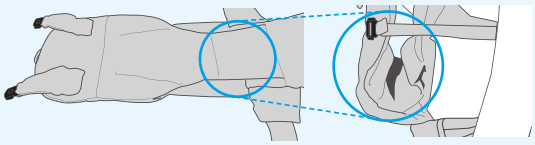
7

たて抱っこ対面の完了です
【生後１ヵ月～首がすわるまで】

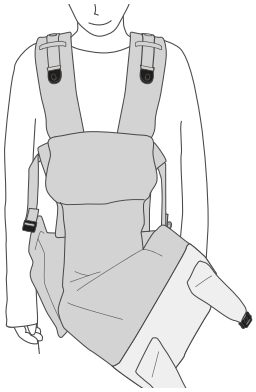
お子さまを降ろす時はセーフティバックルから外し、必ず手で支えながら行ってください。
※10 ページ Tips 参照

⑪たて抱っこ対面【首がすわった乳児期（4ヵ月頃）～24ヵ月（体重13kg）まで】

⚠注意　ファーストファスナーが開いていることを確認してください。



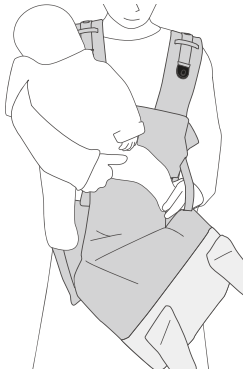
1



片方のジョイントバックルをとめます

左右どちらか片方のジョイントバックルをとめます。ジョイントバックルをとめた方が、最初にお子さまの足を入れる位置になります。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。
※慣れるまではベッドやソファなど、平らで低い位置で乗せおろしすることをおすすめします。

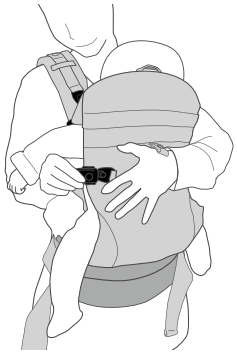
2



お子さまを乗せます

お子さまを対面に抱き、ベビーキャリアに乗せます。
※常にお子さまを支えるようにしてください。

3



ジョイントバックルをとめます

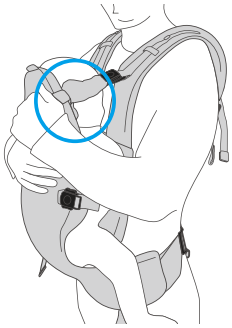
左右のジョイントバックルをとめます。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。

4

セーフティバックルをとめます

左右のセーフティバックルをとめます。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。

5

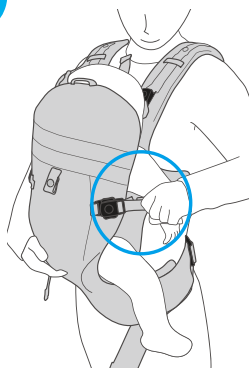


セーフティベルトを締めます

左右のセーフティベルトを締めます。お子さまの頭が寄るように締めてください。

❗ポイント
セーフティベルトは必ず締めてください。

6



ジョイントベルトを締めます

左右のジョイントベルトを締めます。お子さまの体が寄るように締めてください。

❗ポイント
ジョイントベルトは必ず締めてください。

7

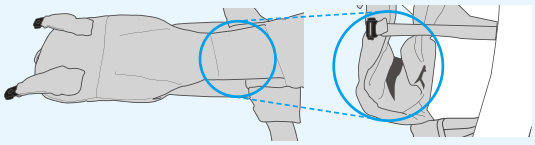
たて抱っこ対面の完了です

【首がすわった乳児期～24ヵ月まで】

お子さまを降ろす時はセーフティバックルから外し、必ず手で支えながら行ってください。
※10ページTips参照

⑫たて抱っこ前向き【腰がすわった乳児期（7ヵ月頃）～24ヵ月（体重 13kg）まで】

⚠注意 ファーストファスナーが開いていることを確認してください。

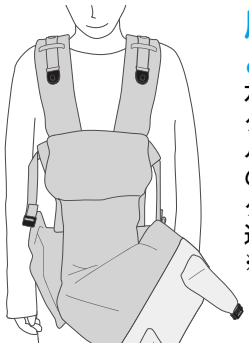


ポイント

装着の前にヘッドサポートを折り曲げて、ループにヘッドサポートボタンを通してとめてください。

前向きの時、お子さまの視界を確保します。

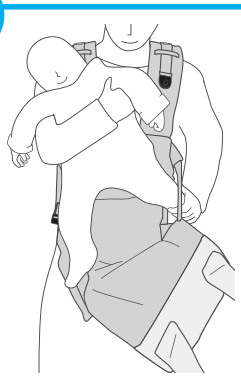
1 片方のジョイントバックルをとめます



左右どちらか片方のジョイントバックルをとめます。ジョイントバックルをとめた方が、最初にお子さまの足を入れる位置になります。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。

※慣れるまではベッドやソファなど、平らで低い位置で乗せおろしすることをおすすめします。

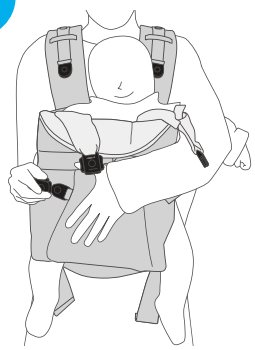
2 お子さまを乗せます



お子さまを前向きに抱き、ベビーキャリアに乗せます。

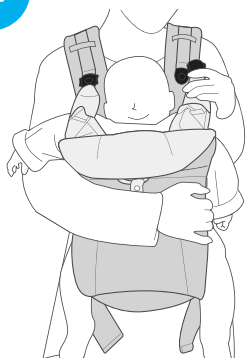
※常にお子さまを支えるようにしてください。

3 ジョイントバックルをとめます



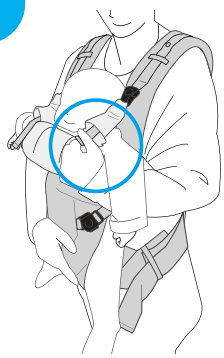
左右のジョイントバックルをとめます。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。

4 セーフティバックルをとめます



左右のセーフティバックルをとめます。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。

5 セーフティベルトを締めます

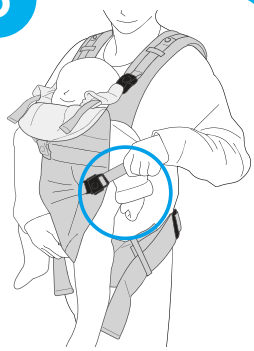


左右のセーフティベルトを締めます。お子さまの頭が寄るように締めてください。

ポイント

セーフティベルトは必ず締めてください。

6 ジョイントベルトを締めます



左右のジョイントベルトを締めます。お子さまの体が寄るように締めてください。

ポイント

ジョイントベルトは必ず締めてください。

7 たて抱っこ前向きの完了です

【腰がすわった乳児期～24ヵ月まで】

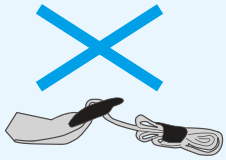
お子さまを降ろす時はセーフティバックルから外し、必ず手で支えながら行ってください。

※ 10 ページ Tips 参照

⑬おんぶ【首がすわった乳児期（4ヵ月頃）～36ヵ月（体重15kg）まで】

⚠注意
おんぶは、たて抱っこ対面の状態から行います。

⚠注意
ショルダーベルトをまとめた状態では、抱っこ⇔おんぶの移動ができません。



1

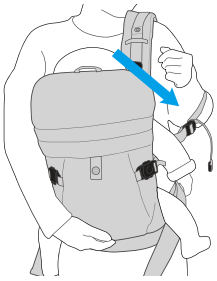
ポイント
矢印の方向にショルダーベルトアジャスターを起こすとベルトが緩みます。

ショルダーベルトを緩めます
左右のショルダーベルトを緩めます。この時、必ずお子さまを支えながら行ってください。

2

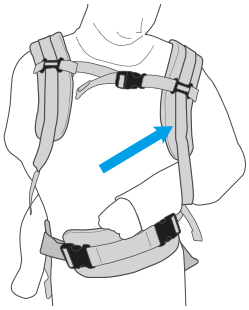
右腕を上に抜きます
右腕をショルダーベルトの下からくぐらせ、そのまま上に抜きます。
※この時、必ずお子さまを支えながら行ってください。

3



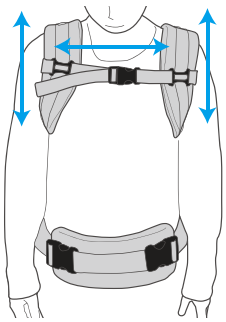
左腕を下に抜きます
左腕をショルダーベルトの内側にくぐらせ、そのまま下に抜きます。
※この時、必ずお子さまを支えながら行ってください。

6



左腕を入れます
ショルダーベルトをスライドさせて肩の位置まで戻します。
※この時、ショルダーベルトがねじれていないか、確認してください。

7



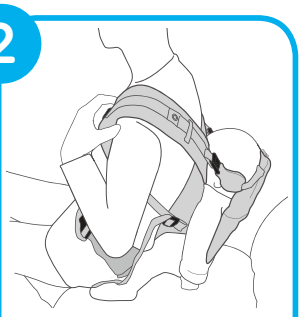
フィットベルト、フィットアジャスターを調整します
前後左右に動かすことができます。

おんぶの降ろし方

1

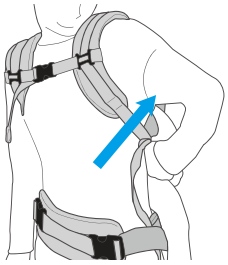
フィットバックルを外します。
※この時、必ずお子さまを支えながら行ってください。

2



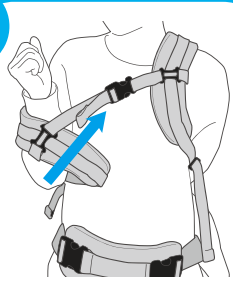
お子さまを降ろします。
左右のショルダーベルトを持ちながら降ろしてください。
※お子さまを降ろす時は、安全な場所で行ってください。

1



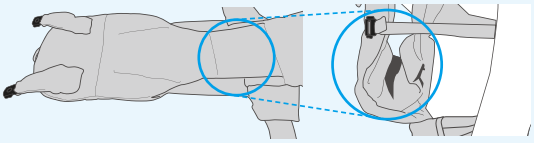
ショルダーベルトを緩めます
左右のショルダーベルトを緩めます。この時、必ずお子さまを支えながら行ってください。

2

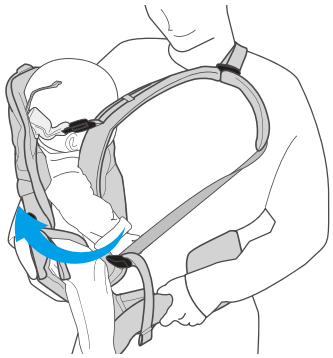


右腕を上に抜きます
右腕をショルダーベルトの下からくぐらせ、そのまま上に抜きます。
※この時、必ずお子さまを支えながら行ってください。

⚠注意 ファーストファスナーが開いていることを確認してください。



4



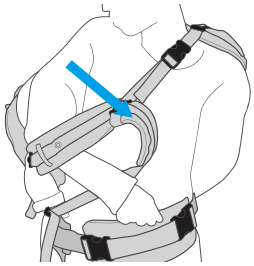
お子さまを背中に移動します

右手でお子さまを支え、左手でウエストベルトをつかみます。体に沿わせるように、ゆっくりと右腕の下にお子さまをくぐらせ、左手でウエストベルトを移動させます。

※左手でバックルをつかまないように注意してください。バックルが外れる危険があります。

※洋服やアクセサリー等、引っかからないように注意してください。

5

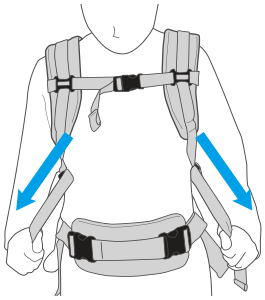


右腕を入れます

ショルダーベルトをスライドさせて肩の位置まで戻します。

※この時、ショルダーベルトがねじれていないか、確認してください。

8



ショルダーベルトを調整します

左右のショルダーベルトを調整します。矢印の方向に引っ張ると短くなります。

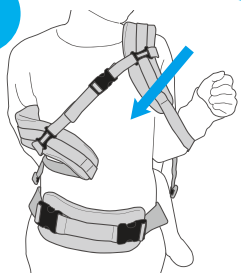
9

おんぶの完了です

【首がすわった乳児期～36ヵ月まで】

おんぶから対面抱っこへの移動

3

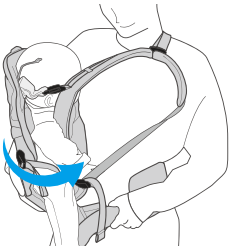


左腕を下に抜きます

左腕をショルダーベルトの内側にくぐらせ、そのまま下に抜きます。

※この時、必ずお子さまを支えながら行ってください。

4



お子さまを前に移動します

右手でお子さまを支え、左手でウエストベルトをつかみます。

体に沿わせるように、ゆっくりと右腕の下にお子さまをくぐらせ、左手でウエストベルトを移動させます。

※左手でバックルをつかまないように注意してください。バックルが外れる危険があります。

※洋服やアクセサリー等、引っかからないように注意してください。

5

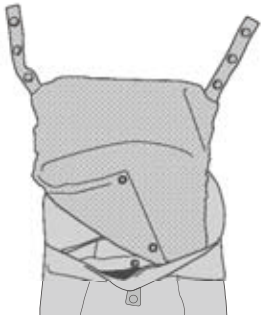
左腕、右腕を入れます

左右のショルダーベルトに腕を入れます。

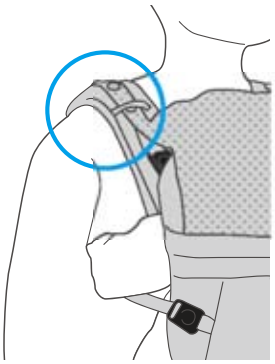
ショルダーベルトに腕を入れた後は、必ず左右のショルダーベルトを調整してください。

※ショルダーベルトの調整方法は４ページ手順③をご覧ください。

◆フードの使い方【フードの使用は18ヵ月までを目安にしてください】◆



フードは着脱可能です。
付けたままフードを収納することもできます。
（フード収納ポケット）



ショルダーベルトのフードループに通して、ホックでとめます。

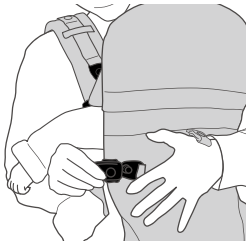
日除けや、頭を支える時のサポートとして使用してください。
※フード着用時はお子さまの顔が隠れることがあります。お子さまの状態を確認するようにしてください。

◆ベビーキャリアからの降ろし方◆

1

①左右のセーフティバックルを外します
※この時、必ずお子さまを支えながら行ってください。

2



②左右のジョイントバックルを外します
※この時、必ずお子さまを支えながら行ってください。

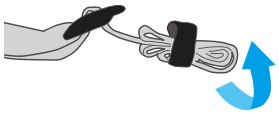
セーフティバックル⇒ジョイントバックルの順に外すことにより、安全にお子さまを降ろすことができます。

◆余ったベルトのまとめ方◆

ショルダーベルト

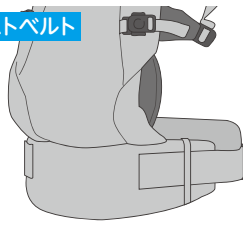
余ったベルトを三つ折りにします。この時、先端のゴムが一番上かつ端にくるようにします。

三つ折りしたベルトを半分に折ります。



ゴムを反対側に回してとめます。

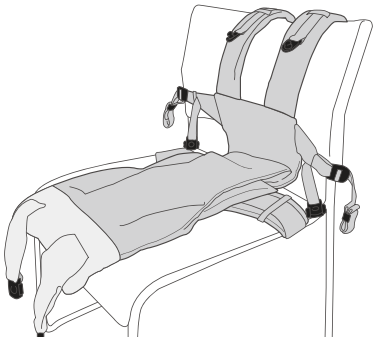
ウエストベルト



余ったウエストベルトはベルトループに通してください。

◆チェアベルトの使い方【腰がすわった乳児期（7ヵ月頃）～24ヵ月（体重13kg）まで】◆

1



ポイント

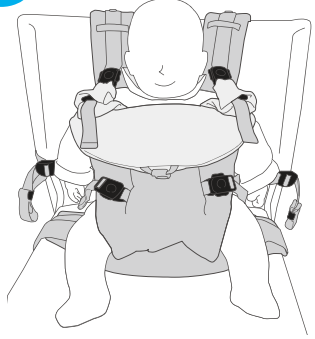
チェアベルトとして使用する際には、ヘッドサポートを折り曲げた状態で使用してください。
※７ページ たて抱っこ前向きをご参照ください。

ショルダーベルトを背もたれにかけ、ウエストベルトを座面の下でとめます。この時、必ずショルダーベルトとウエストベルトを締めて椅子に固定してください。
※椅子の形状によってはチェアベルトとして使用できない場合もあります。

2

お子さまを前向きに座らせて、ジョイントバックル、セーフティバックルをとめます。
※ジョイントベルト、セーフティベルトは必ず締めてください。

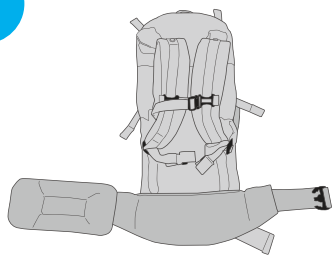
3



チェアベルトの完了です。

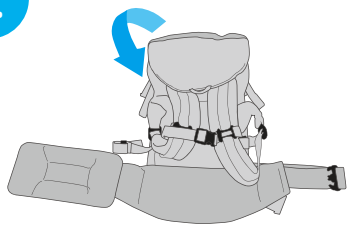
◆ベビーキャリアのまとめ方◆

1



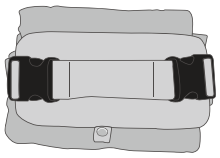
ベビーキャリアを裏返して、ショルダーベルトを内側にまとめます。

2



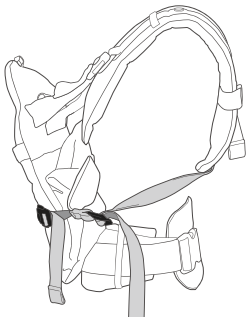
フード収納ポケットのファスナーを目安に少し折り、もう一度中に折りたたみます。

3

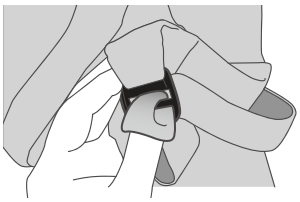


折りたたんだベビーキャリアの上にウエストベルトを重ねて、バックルでとめます。
ベルトを締めれば完成です。

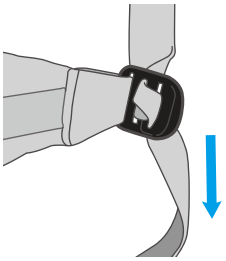
◆ねじれたベルトの直し方◆



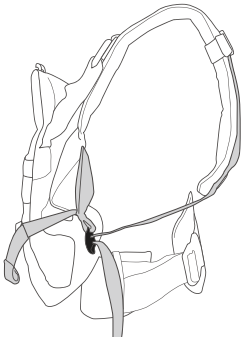
ベルトがねじれている方向をよく確認してください。



ベルトがねじれている方向と反対方向にベルトをねじりながら、樹脂パーツの隙間に通します。

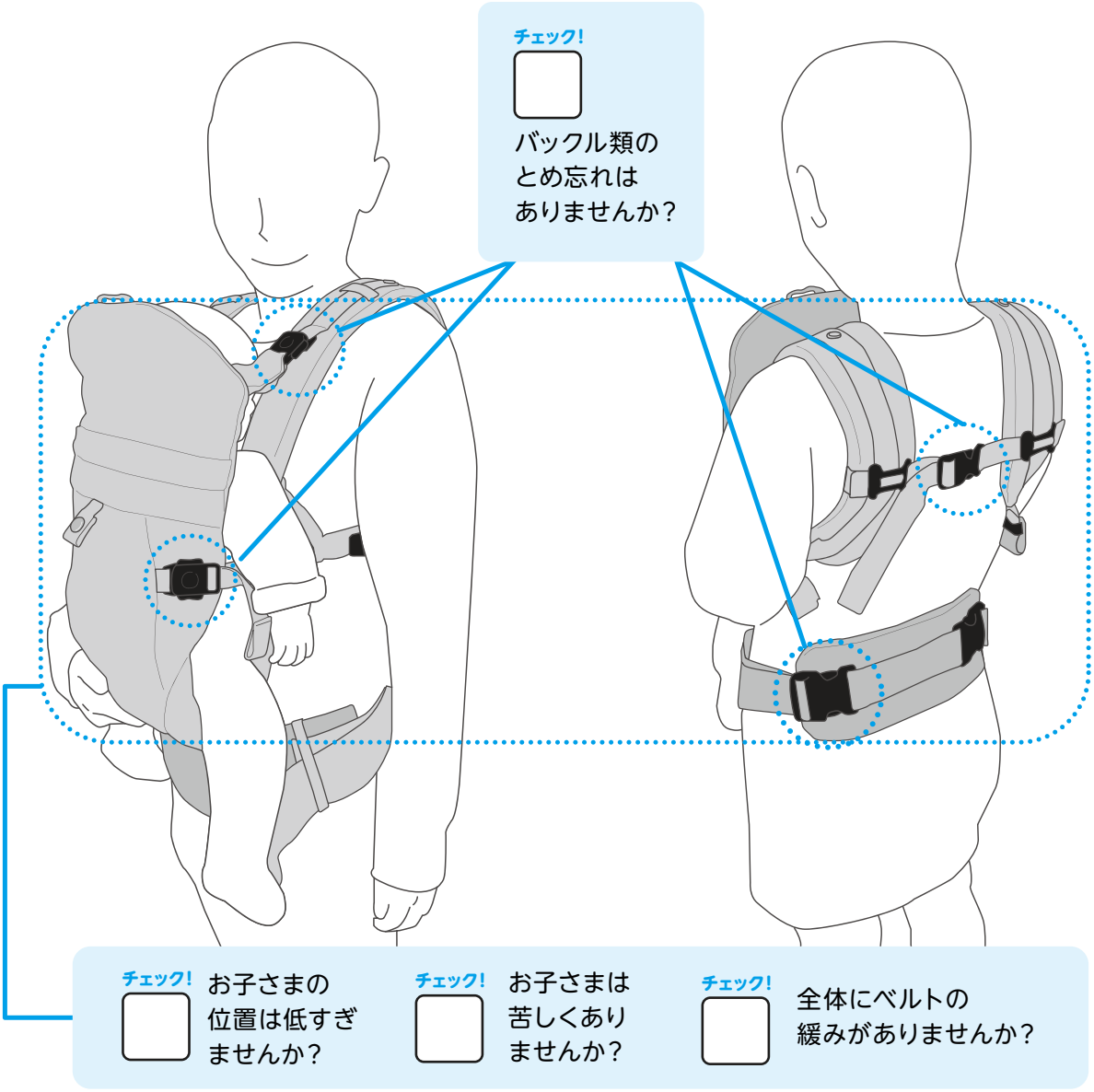


ベルトをねじったまま、樹脂パーツから引き抜きます。



完了です。

抱っこのポイント



ラッキー工業株式会社

〒503-2423 岐阜県揖斐郡池田町青柳83-8　TEL.0585-45-7425
SG登録工場 第31-001号
ホームページアドレス　http://www.lucky-baby.co.jp

TL00030　SN17-01